

はじめに

国土技術政策総合研究所（国総研）は、平成 13 年 4 月の設立以来、職員一人一人が使命や研究活動の方向・視点などについて共通の認識を持つために研究方針を定め、それに従い研究開発活動を推進している。各研究部・センターの専門性に加え、横断的組織による総合性を確保し、政府や国土交通省の政策の実現に向けて、国土の利用、開発及び保全のための社会資本整備に関連する技術政策の企画及び立案に関する研究を行うとともに、これら技術に関する指導及び成果の普及を行っている。

また、これらの取組に対する評価として、「国の研究開発評価に関する大綱的指針」、「国土交通省研究開発評価指針」等を踏まえ、国総研の設置目的や研究目的・目標に即して、機関運営と研究開発の実施・推進の両面から「研究開発機関等の評価」（機関評価）を実施している。

今年度は、「国土技術政策総合研究所研究評価委員会」を令和 6 年 12 月 11 日に開催した。令和 10 年度に実施予定の次期機関評価に向けて、研究評価委員会の進め方や、令和 6 年能登半島地震に関して取り組んだ復旧支援や調査等の対応について議論した。本報告書は、その結果等を取りまとめたものである。

国土交通省国土技術政策総合研究所長